

# ちょうしづか新聞 第18号

国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳整備事業に伴う試掘調査速報

発行日:2004年10月16日(土曜日) 発行:山梨県埋蔵文化財センター資料普及課資料第2担当

## 銚子塚古墳に葬られた人はどこに住んでいたのか？

銚子塚古墳の発掘をしていると、見学者の方からご質問をうけることがあります。今回は神奈川県から見学に来られた方からのご質問です。

「銚子塚古墳に葬られた豪族はいったいどこに住んで暮らしていたんですか？」(神奈川県・男性・60才代)  
さあ、銚子くん！出番だよ！

はい！僕、銚子くんだよ。  
久しぶりのご質問ありがとうございます。

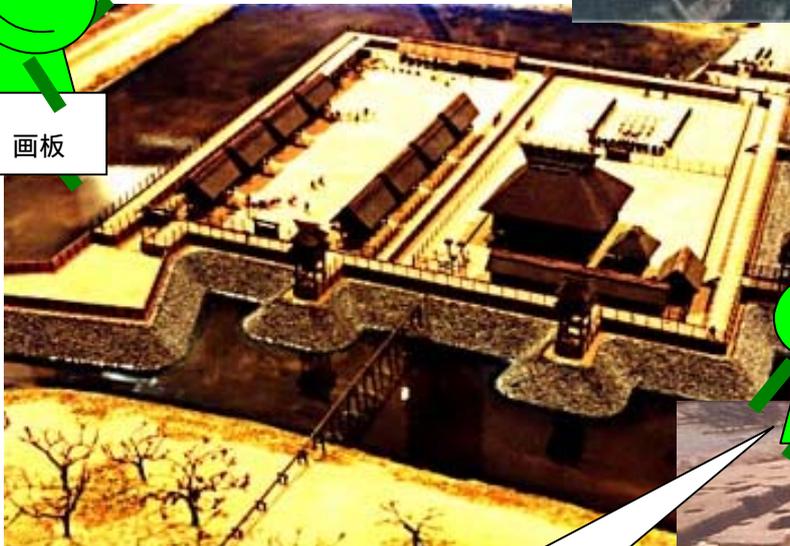
ふむふむ、とてもいい質問ですね。  
銚子塚古墳に葬られた人は4世紀の後半頃(今から約1,600年前)の甲斐を統治していた豪族の長だと考えられるよ。おそらく、ヤマト政権(現在の奈良県周辺)と関係のあった強力な権力を持った「王様」だったんだろうね。こんな大きな前方後円墳を造らせたぐらいだからねえ。

そんな王様のことだから、さぞかし立派な館に住んでいたのだろうけど、残念ながらそういう遺跡は山梨ではまだ発見されていないんだ。見つけたら大発見なんだけどねー。でも、他県では王様(豪族)の暮らしていた館の跡らしき遺跡が数多く発見されているよ。そういう例を参考にすると、銚子塚に葬られた王様の館は、銚子塚古墳からそれほど遠くない(ていうか近い)ところにあったと考えられるよ。



画板

このような豪族が暮らしたり、執務していた場所のことを「豪族居館(ごうぞくきょかん)」っていうんだよ。代表的なのは群馬県にある「三ツ寺遺跡」です。



古墳時代の「豪族居館」の推定図

豪族居館のまわりにはお城の堀のように溝が巡っていて、その内側には古墳と同じように「葺石」が葺かれているよ。あくまで葺石であって、石垣ではないんだ。山梨でも早く発見されないかなあ？楽しみだなあ。



三ツ寺遺跡で見つかった「豪族居館」の様子

〔連絡先〕山梨県埋蔵文化財センター 資料普及課資料第2担当(森原・森屋)

〒400 1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 電話055 266 3016 ファックス055 266 3882

e-mail morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

この「ちょうしづか新聞」はフルカラーExcel版で作成しています。ご希望の方はメールでご連絡ください。